



東京多摩プロバスニュース

第 44 号

■事務局: 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行:編集委員会 2012.9.5.

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

キャリアと特技を活かし、次の世代に引き継ごう

第 9 期 定期総会、第 97 回 定例会

日 時 :平成 24 年 7 月 4 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :京王クラブ 2F 会議室

出席者 :定期総会 27 名、定例会 28 名(会員数 35 名)

第 98 回 定例会

日 時 :平成 24 年 8 月 1 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :関戸公民館第 2 学習室

出席者 :27 名(会員数 34 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする

◇◇◇ ごあいさつ ◇◇◇

会員同士の親睦を深め、社会奉仕活動に励み、プロバスライフを楽しむ

会長 中村昭夫

多摩プロバスクラブが生まれて 9 年目を迎えました。私達のクラブは歴代の役員の方々のご努力によって充実したクラブとなってきました。しかし年月を経て行くと少しマンネリ化という現象も見られます。もう一度原点に戻って初期の目的であった会員同士の親睦と社会奉仕活動の充実ということに注力して行きたい。



わがプロバスクラブのパワーを最大限に発揮できる源は、会員同士の強い絆だと思います。会員が例会や各行事に喜んで参加でき、また参加して良かったと実感できるように行事のあり方を見直すことも大事でしょう。また、会員の特技を活かして会員同士でそれを学び習得するような企画を立案していくことも行い、会員自身がプロバスライフを心から楽しめる会にできればと考えています。

社会奉仕活動では、多摩市が掲げている「2050 年の大人づくり」に賛同して、会員の持つ特技やキャリアを活かして、小中学校などと連携して次の世代を担う若い人達に、

日本文化や伝統的習慣・作法などを伝授していくことも必要です。今から 40 年ほど前の日本人に対する外国人の評価は、「日本人は礼儀正しく、親切で知識豊かな民族である」ということでありました。

しかし、近年このような日本人評価が少し崩れてきているように思われます。若い世代の人達が、これから 40 年後国際社会の中で活動していく時、かつて言われていた日本人への評価を良く体して、活動してほしいと願っています。そのためには、経験豊かなメンバーがより一層役割を自覚し、日本伝統文化を伝えていく責任があると思います。



涼やかな風を感じるしだれ柳並木(多摩市永山学園通り)

第9期定期総会(平成24年度)が7月4日(水)午後1時30分～3時、京王クラブ2F会議室で開催された。議案内容の通り、要約して報告する。

大澤亘会長の開会挨拶後、稲田興幹事の司会で議長に登坂征一郎会員、書記に吉岡喜久恵会員を選出、議事録署名人に大澤亘会長並びに登坂征一郎議長が選任された。

次いで、登坂議長が会則11条3項により総会成立を確認(議決権所有会員35名、出席27名、委任状5名)し、議長の議事進行による審議がなされ、第1号議案から第6号議案まですべて承認された。

第1号議案 平成23年度活動報告

1. 第8期総括報告 大澤亘会長

「共に学び、活動し、自己実現と社会貢献を」をスローガンとして、研修・親睦活動やサークル活動の強化による会員相互の親睦と連帯意識の向上を図ると共に、対外活動で近隣のプロバスクラブとの交流に端緒を開くことができた。また東日本大震災の被災地への支援活動や地球温暖化防止活動など時機に応じた活動も実施した。更には当クラブの10周年記念事業企画プロジェクトを発足させ、多方面にわたる調査活動を実施した。理事会13回開催。

2. 各委員会活動報告

1) 総務委員会 北村克彦委員長

- ①会員状況；入会者4名、退会者5名、会員数35名。
- ②定例会；理事会・各委員会報告やサークル活動報告に続き、卓話(5回)および外部者による講話(4回)、座談会(3回)などを行った。年間12回開催。

2) 研修・親睦委員会 滝川益男委員長

- ①歴史探訪；旧登戸研究所資料館の見学を10月に実施
- ②横濱PCとの交歓会；横濱PCより15名のプロビアンを迎え、市内の名所案内と懇親会を11月に実施。
- ③お花見；桜ヶ丘公園にて野点と酒肴の宴を開催。
- ④その他；7月総会後に懇親会、12月に忘年会を開催。

3) 地域奉仕委員会 西村政児委員長

- ①市民企画講座の開催；「裁判官になるかもしれないあなたへ」と題し、外部講師を招聘し12月に市と共催。
- ②プロバス寺子屋活動(学校教育支援)；「そろばん授業」小学生対象に全5回と「教養マナー授業」を永山高校で実施中。
- ③「日本の伝統文化サロン」の開催；計10回開催中。

4) 広報委員会 増山敏夫委員長

- 会報「東京多摩プロバスニュース」を隔月で計6回発行。ホームページも隔月で更新し、充実を図ると共に、アクセスカウンターも設置。

3. プロジェクト活動報告

1) 環境問題プロジェクト 村上伸茲リーダー

二年間に亘る地球温暖化防止活動の総まとめを行い、内外に報告・発表。マイツリー計画へ今年度より参加。養蜂活動はサークルを編成し、具体的活動へと展開。

2) 創立10周年記念事業企画プロジェクト

大澤亘リーダー

平成26年5月に迎える創立10周年記念事業の準備を開始。各種調査を終え、準備金の積立を開始させた。

第2号議案 平成23年度会計決算書・備品目録

山田正司会計

第3号議案 平成23年度監査報告

鴻池敬和監査

第4号議案 平成24年度 理事選出

| | |
|---------------|-------|
| 会長 | 中村 昭夫 |
| 副会長(会長エレクト) | 増山 敏夫 |
| 幹事 | 関根 正敏 |
| 会計 | 山田 正司 |
| 総務委員会委員長 | 北村 克彦 |
| 研修・親睦委員会委員長 | 上田 清 |
| 地域奉仕委員会委員長 | 滝川 道子 |
| 広報委員会委員長 | 稲田 興 |
| 監査(業務監査・会計監査) | 大澤 亘 |



新任の理事：左から稲田広報委員長・北村総務委員長・関根幹事・増山副会長・中村会長・大澤監査・山田会計・滝川地域奉仕委員長・上田研修親睦委員長

第5号議案 平成24年度活動計画 中村昭夫会長

<スローガン>

「キャリアと特技を活かし、次の世代に引き継ごう」

1. 基本目標と活動方針

1) 基本目標

東京多摩プロバスクラブの設立時からの目標である会員間の親睦活動と奉仕活動の両面の充実をさらに強化促進し、会員がプロバスライフを楽しみ、社会活動に活発に取り組んでいけるような企画を行っていく。社会活動においては子供たちに日本の文化や日本人としての在り方を伝えていくことに注力する。

2) 活動方針

- ①会員の満足度の高揚
- ②会員の増強策
- ③創立10周年記念事業の推進
- ④社会活動の推進
- ⑤外部との連携活動推進

◇◇◇ 第9回定期総会(つづき) ◇◇◇

2. 委員会の活動計画

1) 総務委員会

北村克彦委員長

幹事とともに当クラブの運営に関する庶務的・調整的事項を担当し、あわせて組織の潤滑油として、各委員会の相互連携を図るため、次の活動を行う。

- ① 定例会の開催
- ② 卓話、講話、座談会の充実
- ③ クラブ運営の改善・充実

2) 研修・親睦委員会

上田清委員長

会員の自己研鑽と相互理解を深めることを目的として、次の活動計画を推進する。

- ① 研修計画；多摩の自然観察を兼ねたウォーキング・名所旧跡探訪・一泊研修旅行
- ② 親睦計画；お花見会・忘年会・プロバス間の交流・その他の親睦事業

3) 地域奉仕委員会

滝川道子委員長

会員の豊かな経験・実績を生かし、地道な地域奉仕活動を実施する。

- ① 多摩市ESDの推進；そろばん教室・海外経験会員による国際理解授業・伝統文化サロンなどの出前授業
- ② 市民企画講座の開催
- ③ 環境問題への貢献；マイツリー計画の継続的推進

④ 他団体との協働活動推進；伝統文化サロン10回シリーズなど

4) 広報委員会

稲田興委員長

定期的会報の発行を中心に、ホームページの運営・広報諸活動にあたる。

- ① 会報の編集、発行、配布
- ② ホームページの編集と管理・メンテナンス
- ③ 10周年記念誌の編纂企画

第6号議案 平成24年度会計予算 山田正司会計

以上6議案共に異議なく承認され、午後3時総会を終了。



懇親会参加者一同

総会・定例会後、京王クラブにて東京多摩ロータリークラブ林会長以下3名の来賓を迎え、参加者32名。ご自慢のカラオケなどで盛り上がった懇親会となりました。理事の方々一年間ご苦労様でした。

◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

関根正敏幹事

1) 副幹事の選任

理事会(7/25)において、神谷真一会員を副幹事に選任。副幹事は理事ではないが理事会には出席する。

2) 交流担当の選任

理事会(7/25)において、交流担当を選任することを了承。増山敏夫副会長がこれを兼任する。

3) 近隣3プロバスクラブ間交流

八王子・日野・多摩の3プロバスクラブの会長・幹事・交流担当が打ち合わせ(7/24)の結果、お互いの催し参加・卓話の交換・同好会サークル活動の合同実施・定期連絡会の設置について合意した。

4) 全日本プロバス協議会関東中央地区交流会

八王子プロバスクラブ元会長兼全日本プロバス協議会副会長の立川さんより、第2回関東中央地区交流会のホストクラブを多摩プロバスクラブで引き受けて欲しいと要請あり。理事会で協議の結果引き受け了承した(7/11)。近々プロジェクトチームを立ち上げ対応する。

2. 総務委員会報告

北村克彦委員長

1) 7月度定例会(7月4日) 出席：28名 欠席：4名
座談会「これからのプロバス活動に期待すること」

関連記事P4参照

2) 8月度定例会(8月1日) 出席：27名 欠席：3名

① 入会希望者2名(瀬尾日出男さん、鈴木泰弘さん)が見学のため出席された。入会意思を確認した上で8月理事会にて最終決定し、9月から入会する予定。

② 講話；多摩市都市環境部みどりと環境課 環境政策担当主査 長谷川哲哉氏による「多摩市のみどりと環境行政について」

関連記事P4参照

③ 楠慶二会員が一身上の理由により、7月末をもって退会。この結果、当クラブの会員は8月1日現在34名(内3名が休会中)となる。



総務委員会の皆さん

左から吉岡・古澤・池田・永島・北村・小西・滝川各委員

◇◇◇ 座談会 ◇◇◇

あと2年で当クラブは創立10周年を迎えます。会員は「今後のプロバスクラブにどんなことを期待しているのか」、ここで皆さんの思っていることを率直に語っていただくべく、小西加葉子総務委員の進行で座談会を行いました。

(文責 総務委員会 北村克彦委員)

座談会「これからのプロバスに期待すること」

- 発言の内容は、
- 楽しい昼食会をやりたい。
 - 年々皆齢を取る。若い人に入会して欲しい。
 - 高齢者向けの太極拳を計画したい。
 - 新しい切り口で、お互い参加型のイベントができないか。
 - 近隣のプロバスクラブと卓話の交換をしたい。
 - 負担が集中することのないよう担当を考慮してほしい。
 - もう少し気楽な定例会にしたい。時間が経つにつれて組織は硬直化している。
 - お茶に関する話、茶礼のデモをやってみたい。
 - 自分と無関係だったことにも関心を持てるような企画を。
 - 外部の見学で、自分が経験したことのない所に行きたい。
 - 負担に感ずることなく、無理しないで楽しめる企画を。
 - 学びあいの集団でありたい。年齢は取っても刺激を受けながら若さを保っていききたい。
 - 親睦が主の付き合いのなかで、神社・仏閣を訪ねて歩くのもよい。
 - 気楽に参加できるサークルや催しがあればよい。例えば茶道サークルなど。
 - OESDへの取り組みをしたい。
- 注記；ESD：Education for Sustainable Development の略

- お宝拝見が印象に残っている。
 - 裁判员制度の取組みは良かった。この種の勉強会をもっとやりたい
 - グルメサークルはいい。
 - 旅行企画が流れたのは残念だ。
 - おしゃれ教室のような企画をまたやって欲しい。色彩・スタイルなど大胆な格好をして集まるのもよいのではないか。
 - 鎌倉時代からの多摩の歴史を知りたい。
 - プロフィールを出し惜しみしないでそれぞれの知識・体験を共有したりバックアップするような企画を。
 - ソロバンに関連して、暗算の話等面白いものが考えられる。
 - 陶芸教室をもう一度やって欲しい。
 - 私の健康法を披露して欲しい。
 - 高齢者・超高齢者の市民活動としてのテーマ、例えば、地域奉仕活動、健康問題、高齢者を取り巻く社会問題等を取り上げたい。
 - 例会がマンネリ化しないための活動として、2～3名の共同により、発表形式は自由で、例えば、昔の多摩・好きな絵・原発事故はなぜ人災か・健康寿命を延ばすために等のテーマで卓話を行ってみたらどうか。
- 以上、今後のクラブ運営にとって重要なテーマ・ヒントが出されたと思います。

◇◇◇ 講話 ◇◇◇

当クラブは、「環境問題プロジェクト」を結成して環境保全地域活動を行ってきましたが、このたびプロジェクトを解散して新しく環境問題に取り組むことになりました。この時期「多摩市みどりと環境基本計画」が改正されましたので、環境基本計画についてその概要を、多摩市役所の長谷川主査に伺うことにしました。(文責 地域奉仕委員会 村上伸茲委員)

多摩市みどりと環境基本計画

多摩市役所みどりと環境課主査 長谷川哲哉氏

<計画策定の経緯>

- 平成11年3月：多摩市みどりの基本計画策定
- 平成13年12月：多摩市環境基本計画策定
- 平成24年：多摩市みどりと環境基本計画策定

<前計画の改定のポイント>

- ① 市民、市民団体、事業者、市における協働および役割分担の明確化
- ② 市民に分かりやすい計画
- ③ 新たな社会情勢への対応
- ④ 実効性の高い施策体系
- ⑤ 計画の適切な進行管理 (PDCA)

<目指す環境像>

循環と調和のまち みんなで創る多摩

—和と環と輪のまちづくり—



<基本理念>

環境への負荷の少ない循環と調和を基調とした社会をみんなでもとに創り継承していくこと

<自然環境分野における目標と施策方針>

① 生物多様性に配慮したみどりの保全(生物多様性確保に向けた体制、生物環境のデータベース化、水環境の維持・保全、周辺自治体との広域連携、民有樹林の保全)

② 暮らしと調和したみどりの育成管理(安心安全な暮らしとの調和、パートナーシップによる維持管理)

③ 身近なみどりの創出と公園緑地の再生(公園緑地のリニューアル、みどりのリサイクル)

④ 歴史文化の保全(文化財の保全)

<生活環境分野における目標と施策方針>

① 健康的で安全安心な暮らしの保全(公害防止、生活環境モニタリング、放射性物質対応)

◇◇◇ 講演(つづき) ◇◇◇

②美しく快適なまちの保持 (みどりと都市が調和した街並)

＜地球環境分野における目標と施策方針＞

- ①ごみの減量と資源の有効利用 (エコショップの推進、分別の徹底、生ごみのリサイクル)
- ②エネルギーの有効利用 (省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用)
- ③良好な水循環の推進 (雨水の地下浸透推進・貯留施設導入)

④環境にやさしい交通の推進 (環境にやさしい自動車利用)

＜環境情報分野における目標と施策方針＞

- ①環境教育の推進と環境学習・活動の充実 (ESD の推進、体験型活動、市民団体・市民・指導者間の連携、地域と連携した環境教育)
- ②環境に関する情報発信の充実 (みどりと環境に関する施策の実施状況の報告)

◇◇◇ ハッピーバースディ ◇◇◇



7月および8月に4名の方が誕生日を迎えられました。

写真左：7月誕生の
西村政晃会員
滝川道子会員

写真右：8月誕生の
上田清会員
阪東熙子会員



◇◇◇ 会員の活動 ◇◇◇

1. 永山高校出前講座

都立永山高校からお話があり、4月から授業をお受けしました。高校二年生の自由選択科目・教養マナーの授業です。言葉遣い、立ち居振る舞いや一般常識など、社会で必要とされるマナーについて秘書検定の問題を中心に学びます。

進路指導部の先生から、「毎週木曜日の午後二時限、肩の力を抜いて楽しんでください」とのアドバイスを頂いて授業に赴きました。授業は戸惑いから始まりました。まず出席名簿を頂いてビックリ。31名中半分が男子生徒です。うかつにも私は、女子生徒だけだと思い込んでいたのです。

さて、「秘書として必要とされる資質」について①秘書の心構え、②秘書に必要な条件などの授業が始まると、昼食後の一時限目はいちばん睡魔が襲う時間帯のようで、気がつくと、生徒は堂々と机に伏して眠っています。——怒らない、怒らない——。ここで「肩の力を抜いて」の意味が判りました。

男子生徒からの質問は「先生、男の秘書はいるんですか？」私も秘書の経験があり体験を話しました。このとき、多摩プロバスクラブの会員で秘書経験のある平田会員と中村会員のお顔が思い浮かび、授業終了後、進路指導部の先生とご相談。

こうして、お二人にボランティアとして講師になって頂くことになりました。平田会員には若き日の秘書経験を、中村現会長には日本とアメリカで秘書を使った経験を、6月28日に実現いたしました。当日、やんちゃな生徒たちの前で堂々とお話されるお二人を、傍らから「さすがプロバス会員」と感心しながら拝聴しました。私の人生の師は教育について、「『一杯の水』ほどの知識を授けようと思えば、教師はまず『一桶の水』ほどの知識を用意しなければなりません」との中国の碩学・李義林博士の言葉を引いて指導してくださいました。私自身、力をつけていかなければならないと強く感じております。

滝川道子会員



2. 四頭(よつがしら)茶会に参加して 倉賀野武士会員

芋の八つ頭ならぬ、茶の「四頭茶会」とはどんな会なのか、6月下旬、高田馬場の茶道会館へ当会員の阪東先生引率のもと、大澤・神谷・登坂各会員と共に体験してきた。

今回は青山会主催の「夏越の茶会」の中で、四頭茶会、濃茶、薄茶、香道、点心の各席が設けられていた。四頭茶会とは榮西(ようさい)禅師が中国天台山より帰国の後、開山した京都建仁寺において、毎年4月に「開山降誕法要」として催される茶礼のことである。広間で禅師に献供の後、四頭すなわち正客4人とその相伴客8人計36人が、残余を拝服する特別な茶会で、参列される方が貴人であるため、天目台に乗せた天目茶碗が用いられるという。緊張している我々にも、抹茶の盛られた天目茶碗が配られ、恭しく捧げ持っている、4人の供給(くきゅう)僧(今回は大学生)が、両手に湯瓶と茶笥を持ち席入りし、正客より順次茶を点てて回る。先日NHKの「平清盛」のシーンで、この天目茶碗が映り、小生も天目で頂いたと驚いた。

常々茶会に参加する客は、寄り付き・本席・掛物・花・香合・点前道具等から、本日の意図を瞬時に汲み取り、特に正客は亭主への的確な問い掛けが要求されると聞いていた。今回の濃茶で正客をされた阪東先生は、長年の経験による絶妙な会話と亭主との機知に富んだ語り口で席中皆を和ませ、まさに一期一会「茶会の醍醐味」を味あわせて頂いた。

その他香道席では計らずも、小生が賞を頂き、誠に得難い体験をし、二重の喜びであった。天候も良く俗事を忘れて御茶三味の素晴らしい一日であった。



後列左から登坂・大澤・倉賀野各会員
前列左から神谷会員、石川・阪東・秋山・岩崎各先生

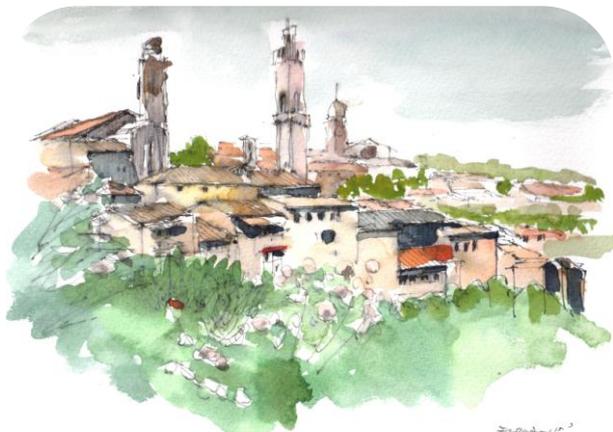
◇◇◇ 会員の活動(つづき) ◇◇◇

3. イタリア紀行 岡野一馬会員
京橋にある画廊の企画する「イタリア中部山岳都市を描く」ツアーに、昨年4月参加。総勢15名。関東が中心だが、関西からも数名。70代中心の高齢者集団だが、絵を描く連中は若々しく元気である。

成田よりローマへ。12時間余の空の旅は少々こたえる年齢になってきた。到着後、直ちに山岳都市「ボマルツォ」へバスで移動する。ここを拠点に1週間余滞在し、周辺の日帰りスケッチをする。

早起きして近くの小高い丘から眺めるこの城塞都市は朝霧に包まれ、さながら、中世にタイムスリップした幻想的な風景となる。あまり知られていない土地のためか地元の人以外はほとんど見当たらない。石造りの古い町並みは何処を切り取っても絵になる。

旅の終りは「シエナ」。カンポ広場に立ち、「マンジャの塔」を描く。三度目だが、いつ来てもここは人が多い。



展示会(7月)出品作「モンタルチーノ旧市街」

東京多摩プロバスソング

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の柱に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

◇◇◇ 新会員紹介 ◇◇◇

倉賀野武士会員

群馬県前橋市出身で、北条氏の出城・倉賀野城主の末裔にあたり、少年時代を赤城山麓で過ごされた。



電力会社の建設関係の仕事を経て、多摩に移り住んだのは、昭和49年です。

私とのつながりは、男性茶道の会(佐助)と俳句の会(舒句会)とで現在ともに楽しんでいます。その他にも華道(池ノ坊)、料理教室、太極拳、そして多摩の自然を愛し、多岐にわたる趣味の持ち主で、

誠実な人柄です。

次世代につなげる仲間として、地域奉仕に活躍が期待されています。(神谷真一会員記)

菊池宣子会員

満洲新京(現在の長春)生まれ、大阪育ち、裏千家茶道教授取得、昭和51年に多摩市へ転居し、当時の多摩市茶華道連盟に入会されました。



平成17年に茶華道から分離し、茶道連盟が発足した折に初代の会長として活躍されました。

また、関戸公民館主催の男性茶道教室の生徒を中心に結成されたサークル「佐助」において、当初より茶道の指導を続けておられます。

菊池様は、茶道における「道学実」を熟知した慎まじやかな方で、優雅な振舞いの中に几帳面なお人柄がうかがえます。

趣味を活かし、充実した毎日を送っておられます。

(森川静子会員記)

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

○第30回夏季五輪ロンドン大会の17日間はわれわれに素晴らしい感動と希望を与えてくれた。

なかでも特筆されるのは“なでしこジャパン”に代表される女性陣の大活躍で受賞の数においても内容においても男性陣を凌ぐほどであった。

○とりわけ全国の人の目を引いたのが女子柔道57キロ級の松本 薫選手の闘志あふれる健闘で、不振を極めた男女柔道陣にあって唯一金メダルをもぎ取るという大金星であった。天性の闘争心をむき出しにする野性味あふれる彼女の闘魂は日本人の心を揺さぶったと思う。

○因みに、松本選手は多摩市内に在住し、多摩市郊外にある帝京大学の女子柔道部を練習拠点にしている関係から、多摩市として独自に表彰することとなり“オリンピックの感動をありがとう!”のイベントを、パルテノン多摩の大ホールで開催し、その盛況はNHKでも採り上げ放送された。

(平田哲郎会員記)